

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和03年01月07日

計画の名称	神戸市公共下水道事業 ~ひと・都市・地球環境を守り育てる下水道をめざして~												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	神戸市												
計画の目標	安全・安心・快適な市民生活と健全な都市活動を支え、良好な水環境を形成するとともに、循環型社会・地球環境保全を進め、魅力ある神戸のまちの創造に貢献する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,509	A	1,500	B	0	C	9	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0.59	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初		R6末
1	垂水処理場東系における汚水処理能力を、36,250[m ³ /日]増強させる。			
	垂水処理場東系における汚水処理能力	72500m ³ /日	m ³ /日	108750m ³ /日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	神戸市	直接	神戸市	終末処理場	新設	市内 通常の下水道事業	垂水処理場 東系 増設	神戸市						750	-	
	A07-002	下水道	一般	神戸市	直接	神戸市	-	改築	市内 下水道ストックマネジメント支援制度	市内処理場・ポンプ場・管路 改築更新	神戸市						690	策定済	
	A07-003	下水道	一般	神戸市	直接	神戸市	-	新設	市内 下水道リノベーション推進総合事業	再生水管路 布設 他	神戸市						5	-	
	A07-004	下水道	一般	神戸市	直接	神戸市	管渠(汚水)	新設	市内 通常の下水道事業	汚水管路 布設	神戸市						55	-	
												小計						1,500	
												合計						1,500	

C 効果促進事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	C07-001	下水道	一般	神戸市	間接	神戸市民	-	-	市内 通常の下水道事業	直接投入型ディスポーザ普及促進	神戸市						9	-	
		バイオマスエネルギーの増産																	
											小計						9		
											合計						9		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02				
配分額 (a)	749				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	749				
前年度からの繰越額 (d)	5				
支払済額 (e)	261				
翌年度繰越額 (f)	493				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 神戸市公共下水道事業 ～ひと・都市・地球環境を守り育てる下水道をめざして～

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 1) 基本方針、上位計画等と整合している。	○
I. 目標の妥当性 2) 地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 1) 整備計画の目標と定量的指標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 4) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 5) 効果促進事業と基幹事業の一体性が確保されている。	
III. 計画の実現可能性 1) 事業の熟度が十分である	○
III. 計画の実現可能性 2) 関係機関等の理解が得られている。	○